

# 第8回留萌川減災対策協議会 議事概要

氾濫が発生することを前提として、関係者が連携して減災のための目標・取組方針を共有し、社会全体で常にこれに備える「水防災意識社会」を再構築し、「迅速・確実な避難」、「社会経済被害の最小化」を目指すことを目的にハード・ソフト対策を一体化、計画的に進めており、その取組状況のフォローアップ等を行うため留萌川減災対策協議会を開催しました。

日時：令和5年2月21日 15:00～15:40

開催方法：対面・Web（ハイブリット会議）

出席者：留萌開発建設部、留萌振興局、留萌市、  
留萌消防組合、旭川地方気象台(Web)、  
陸上自衛隊第26普通科連隊(Web)、  
留萌警察署、JR北海道旭川支社(Web)

## 報告があった取組

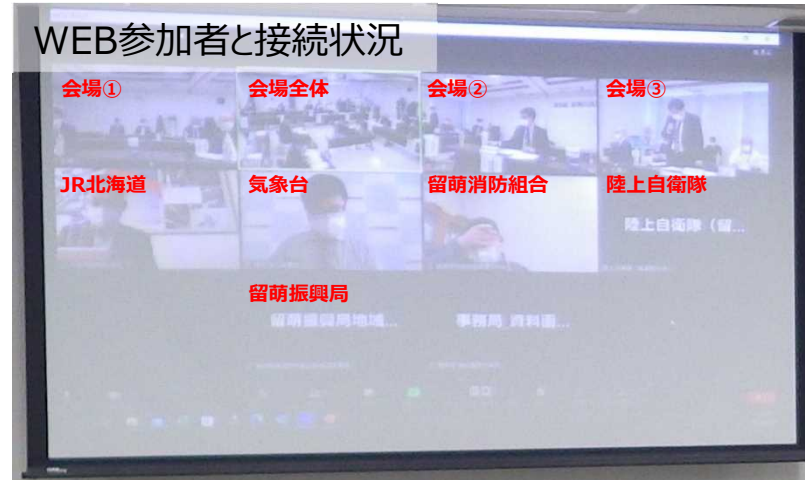
- ・河道掘削、樹木伐採等の河道整備
- ・避難行動要支援者の名簿を作成し、関係機関に情報共有
- ・避難場所等の整備に向けた協議を実施
- ・水害に対応した自治体タイムラインの策定
- ・防災訓練・防災教育の実施
- ・緊急割込み放送の訓練を実施
- ・洪水ハザードマップ、避難情報等の周知
- ・水防資機材の充実
- ・ホームページ等による水防意識の啓発を実施

など

会場の状況



WEB参加者と接続状況



# 各構成員のコメント（第8回留萌川減災対策協議会）



留萌開発建設部長

- 近年、毎年のように全国各地で浸水被害が起きており、留萌管内でも平成30年7月の大雨で床下浸水などの被害が発生しました。昨年8月には遠別、初山別方面で既往最大の降雨を更新し、いつどこで大規模な降雨が発生するか分からないステージであることを実感しました。
- 留萌川においても、昭和63年の大規模な洪水を超えるような出水がいつ発生するか分からない状況なので、減災対策を推進する必要があります。今後も、関係機関の皆様と連携を図っていきたく考えています。



留萌振興局長  
代理出席  
副局長

- 令和7年度までに達成すべき減災目標の「迅速・確実な避難」「社会経済被害の最小化」に向け、着実に取組が進められていると感じています。
- 留萌管内においても、昨年8月に遠別町、初山別村において、観測史上最大の24時間降水量が観測され、海岸の崩壊、道路の決壊や農地の浸水が発生しました。地域の皆様の安全・安心な暮らしを確保するため、昨今の気候変動による影響等を踏まえ、関係機関が連携して減災に取り組むことが非常に重要と考えています。



留萌市長  
代理出席  
副市長

- ハザードマップの配布、地域の要望を踏まえた防災講話の開催、水災害を対象とした留萌市タイムラインの策定を実施しています。
- 市民の生命を守ることを第一に、逃げ遅れが生じないように日頃から市民に向けた防災情報の提供や防災教育、そして避難訓練を実施しています。また、災害時における情報伝達手法の多重化を進めています。
- 平時から関係機関の皆様と連携強化を図っていきたく考えています。